

4. トラブルとその対応事例

4-1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

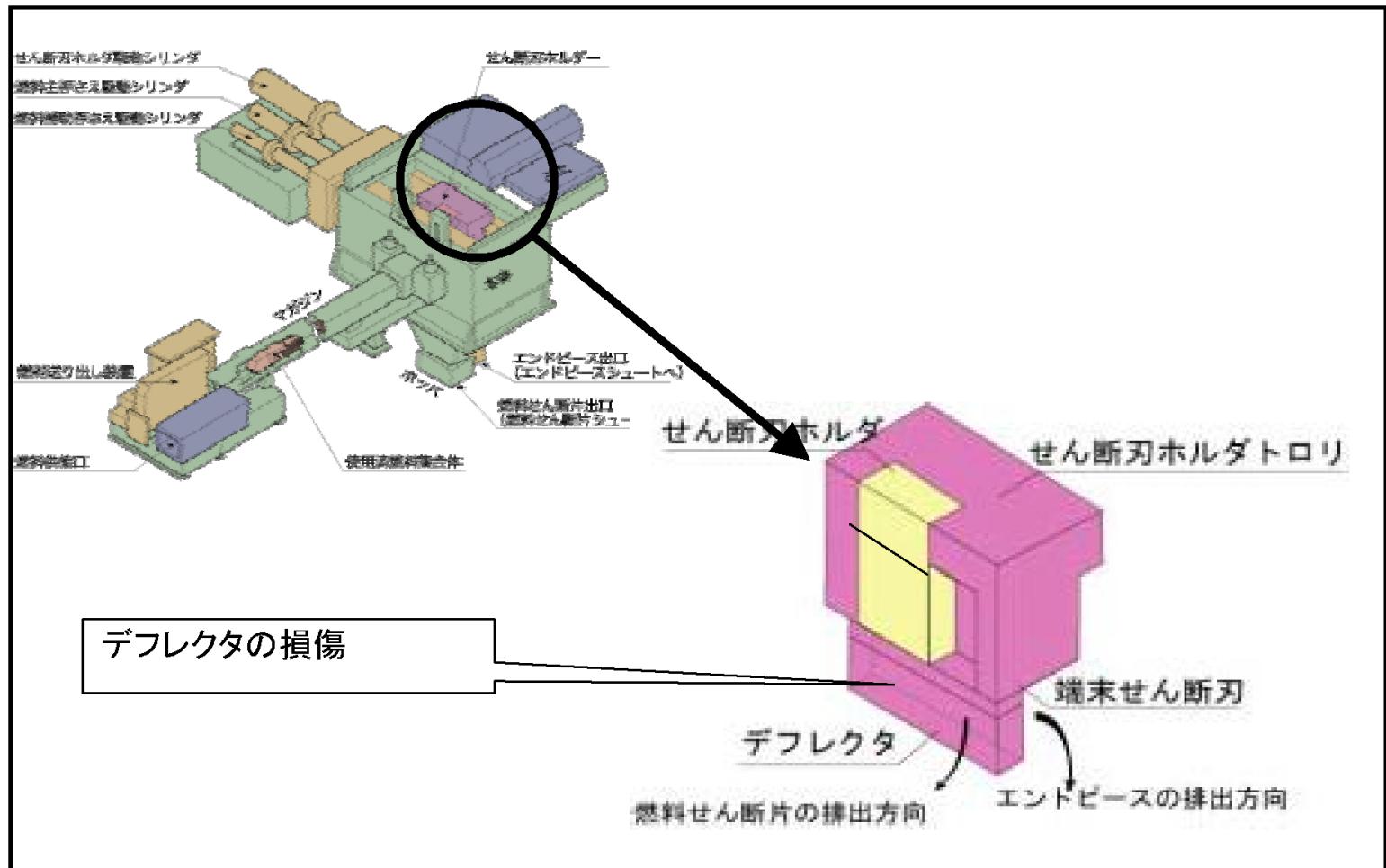
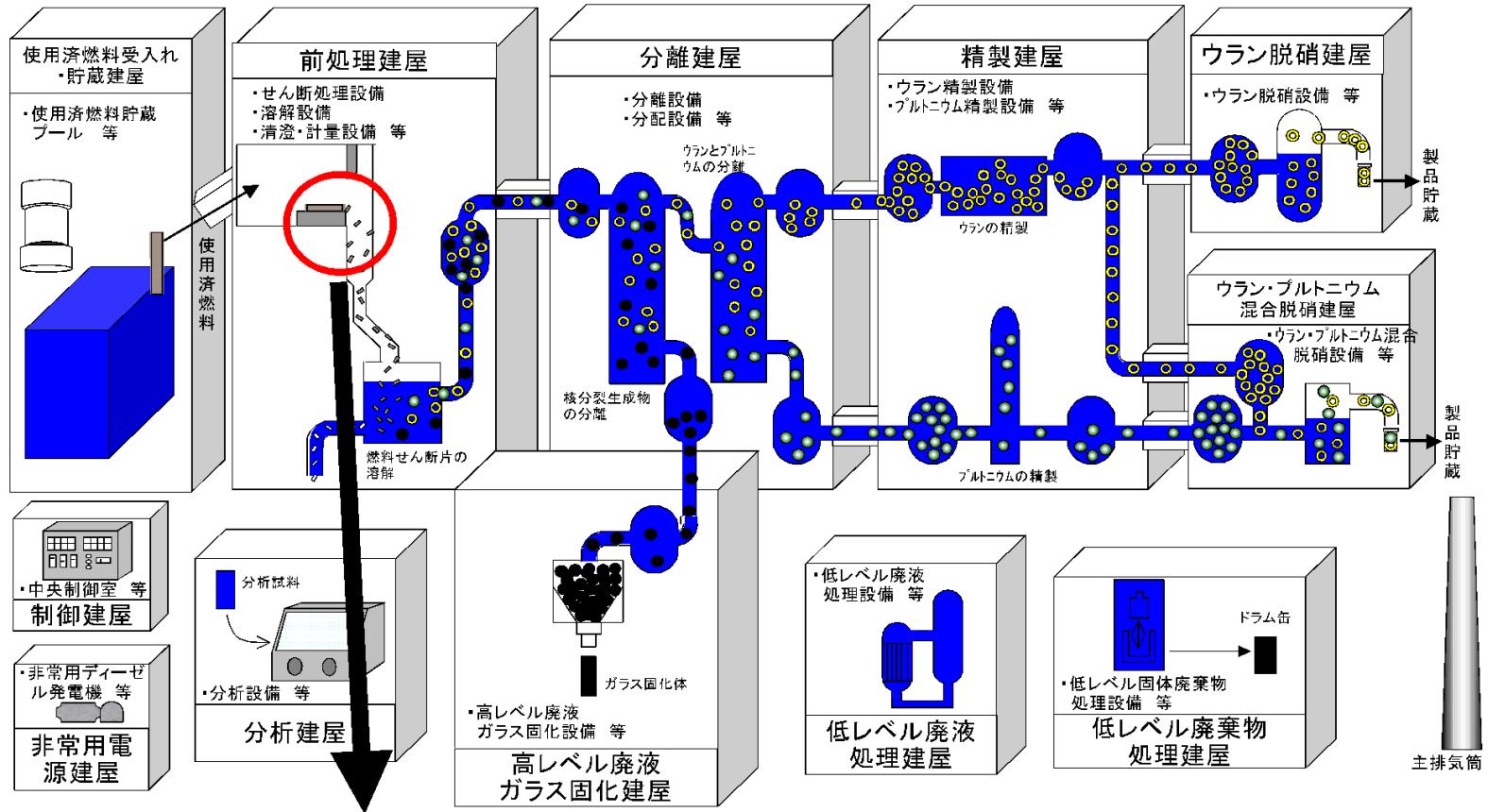
事象分類別 (C. 機器動作不良)

3-09. セン断機におけるデフレクタの損傷

<p>事象の概要</p> <p>(1)発生場所：機器</p> <p>(2)設備の概要</p> <p>(3)発生の状況</p> <p>(4)概要</p> <p>(5)原因</p>	<p>前処理建屋：セン断機</p> <p>使用済燃料を硝酸で溶解するために、燃料集合体を切断し、数cm程度の小片にする装置。セン断刃により、燃料集合体を押し切る。</p> <p>セン断機の運転中</p> <p>燃料集合体をセン断中、セン断機のデフレクタの損傷で、想定外の過度のセン断片がエンドピース酸洗浄槽に混入し、密度高警報が発報。</p> <p>運転を継続する中で偶発的に発生する機器故障。</p>												
<p>事象による影響</p> <p>(1)工場外への影響</p> <p>(2)安全性への影響</p> <p>(3)作業員への影響</p> <p>(4)他工程への影響</p>	<p>工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備および前処理建屋換気設備稼働しているセル内での事象およびそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p>安全上の問題は生じない。 エンドピース酸洗浄槽の密度異常を複数の検知器で確実に検知し、密度高警報により、セン断を停止するため、これ以上事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>作業員への影響は生じない。 デフレクタの復旧作業は、セル外からの遠隔作業であるため、作業員への影響は生じない。</p> <p>下流の工程の運転に影響が生じる。 エンドピース酸洗浄槽の密度計により混入を検知しセン断が停止することにより、溶解槽以降の工程の運転に影響が生じる。さらに下流の分離建屋以降の工程は、前処理建屋に設置されている一時的な貯留槽（計量後中間貯槽）の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>												
<p>対応の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. エンドピース酸洗浄槽に過度のセン断片が混入していることを確認する。 2. 定められた手順に従い、エンドピース酸洗浄槽の溶液を処理する。 3. 定められた保守作業手順に従ってデフレクタの損傷の状況を確認し、交換を行う。 4. 保守完了後、定められた操作手順に従い、運転を再開する。 												
<p>公表区分</p>	<p>夜間・休祭日を問わず速やかに公表（プレス発表）</p>												
<p>連絡区分*</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #d9ead3;">A 情報</td> <td>B 情報</td> <td>C 情報</td> <td>ごく軽度な機器故障</td> <td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td> <td>不適合等</td> </tr> </tbody> </table>	トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報										
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等								

*：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

事象概要



復旧方法
 故障した部品の交換により復旧

